

問1 こん虫がたくさんいるのは、どのような場所ですか。

問2 自然を調べるときに、まず最初におこなうことは何ですか。

問3 赤と黒のもようをしていて、自分より小さい虫を食べる虫はどれですか。

問4 体が「頭」「むね」「はら」の3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物のなかまを何といいますか。

問5 植物の実は、花が咲いたあと、どこにできますか。

問6 動物がくらす場所のとくちょうとして、ダンゴムシはどのような場所にいることが多いですか。

問7 植物に実ができるのは、どのようなことがおこったあとですか。

問8 ホウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、どのようなものがたくさん入っていますか。

問9 チョウなどのよう虫が、大きくなるときに古い皮をぬぐことを何といいますか。

問10 アゲハが、ミカンやサンショウの葉などにうみつけるものは何ですか。

問11 こん虫のからだの部分のうち、6本のあしがついている部分はどこですか。

問12 植物が成長して実ができるのは、どのようなになった後ですか。

問13 チョウの育ち方で、よう虫の次になり、せい虫になる前の時期を何といいますか。

問14 植物の高さのことで、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さのことを何といいますか。

問15 石の下などの日かげをさがすとよく見つかる、春によく見られる生きものはどれですか。

問16 モンシロチョウのたまごは、どこにうみつけれられますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 食べ物があって、敵から身をかくれるところがある場所	こん虫は、食べ物がある場所や、敵から身をかくれるところがある場所に多くいます。
問2	答え 観察をする	自然を調べるときは、まず最初に観察をします。そのあとに記録や発表を行います。
問3	答え テントウムシ	テントウムシは、赤と黒の目立つもようがあり、自分より小さい虫を食べるのがとくちょうです。
問4	答え こん虫	体が頭・むね・はらの3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物を「こん虫」といいます。
問5	答え 花が咲いていたのと同じ場所	植物の実は、花が咲いたあとに、花が咲いていたのと同じ場所にできます。
問6	答え 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、しめり気があって暗い、石の下などの日かげを好んでくらしています。
問7	答え 花が咲いたあと	植物の実は、花が咲いたあとにできます。花が咲く前や、芽が出る前に実ができることはありません。
問8	答え 丸くて小さいたね	ホウセンカの花が咲いた後にできる実の中には、丸くて小さいたねがたくさん入っています。
問9	答え だっぴ	よう虫が大きくなるときに、古い皮をぬぐことを「だっぴ」といいます。
問10	答え アゲハのたまご	アゲハは、ミカンやサンショウの葉などにたまごをうみつける特ちょうがあります。
問11	答え むね	こん虫の6本のあしは、すべて「むね」の部分についています。
問12	答え 花が咲いた後	植物は、つぼみから花が咲いたあとに、実ができます。
問13	答え さなぎ	チョウは、よう虫のあとにさなぎの時期をへて、せい虫へと育ちます。
問14	答え 草たけ	植物の高さのことで、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さを「草たけ」といいます。
問15	答え ダンゴムシ	石の下などの日かげをさがすと、ダンゴムシをよく見つけることができます。
問16	答え キャベツの葉	モンシロチョウは、たまごをキャベツの葉にうみつける性質があります。